議案第112号

小田原市職員の給与に関する条例及び小田原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

「改正理由」

人事院勧告及びこれに対する県内の他の地方公共団体の状況を踏まえ、本市職員の給料月額、通勤手当の支給上限額並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を引き上げるとともに、国家公務員の給与制度に準じて、勤勉手当基礎額の算定方法を変更するため改正する。

「内 容]

- 1 一般の職員に係る給与改定(改正条例第1条及び第2条関係)
 - (1) 給料月額の引上げ(別表第1及び別表第2関係)

人事院勧告で示された国家公務員の俸給表を基礎として、若年層を中心に給料月額を引き上げることとする。(平均改定率+3.3パーセント)

(2) 通勤手当の支給上限額の引上げ(第10条関係)

通勤のため自動車等を使用することを常例とする職員に支給する通勤手当の 支給上限額を次のように引き上げることとする。

改 正 後	改 正 前
38,700円	31,600円

(3) 期末手当の支給割合の引上げ(第19条関係)

期末手当の支給割合を次のように引き上げることとする。

区	分	現	行	令和7年度		令和8年度以降
再任用職 員以外の	6 月 期		100分	O 1 2 5		100分の126.25
職員	12月期	100分	の125	100分の127.	5	100分の126.25
再任用職	6 月 期		1009	うの70		100分の71.25
員	12月期	1003	分の70	100分の72. 5	5	100分の71.25

(4) 勤勉手当の支給割合の引上げ(第20条関係)

勤勉手当の支給割合を次のように引き上げることとする。

区分現	行 令和7年	度 令和8年度以降
-----	--------	-----------

再任用職 員以外の	6 月 期	100分の105	100分の106.25
職員	12月期	100分の105 100分の107.5	100分の106.25
再任用職	6 月 期	100分の50	100分の51.25
員	12月期	100分の50 100分の52.5	100分の51.25

(5) 勤勉手当基礎額の算定方法の変更 (第20条関係)

勤勉手当基礎額の算定方法を次のように変更することとする。

改 正 後	改 正 前
給料の月額及びこれに対する地域手当	給料及び扶養手当の月額並びにこれら
の月額の合計	に対する地域手当の月額の合計

- 2 特定任期付職員に係る給与改定(改正条例第3条及び第4条関係)
 - (1) 給料月額の引上げ(第7条関係)

人事院勧告で示された国家公務員の特定任期付職員の俸給表に準じて、給料 月額を引き上げることとする。

(2) 期末手当の支給割合の引上げ(第8条関係)

期末手当の支給割合を次のように引き上げることとする。

区分	現 行	令和7年度	令和8年度以降
6 月 期	1003	100分の96.25	
1 2 月期	100分の95	100分の97.5	100分の96.25

(3) 勤勉手当の支給割合の引上げ(第8条関係)

勤勉手当の支給割合を次のように引き上げることとする。

区	分	現	行	令和7年度	令和8年度以降
6	月期	100分の87.5			100分の88.75
1 2	2月期	100分页	87.5	100分の90	100分の88.75

3 給与改定に伴う経過措置(改正条例附則第3項関係)

給与改定に伴う所要の経過措置を定めることとする。

4 小田原市職員の育児休業等に関する条例の一部改正(改正条例附則第4項関係)

1(5)に伴う所要の規定の整備を行うこととする。(第15条関係)

[適 用]

1 給料月額の引上げ、通勤手当の支給上限額の引上げ並びに令和7年度の支給に係る期末手当及び勤勉手当の支給割合の引上げ

令和 7 年 4 月 1 日

- 2 令和8年度以降の支給に係る期末手当及び勤勉手当の支給割合の改定 令和8年4月1日
- 3 上記以外 公布の日